

平成30年6月25日

第1回 学校運営協議会議事録

協議会委員

堅田利明、福田順子、北村 剛、森 隆裕、藤田佳久、井谷和子

本校出席者

松浦正明 校長

田原 聡 教頭

山口範晃 事務長

前出和彦、富田哲司、中村秀治、藤本信吾、梅崎 亮

進行 本校教頭 田原 聡

1 校長挨拶

学校運営に役立てて行くため、今年度も様々なお意見を頂戴したい。

平成30年度のこれまでの取り組みについて報告する。

2 委員紹介

協議会委員、学校側出席者より順にあいさつ。

3 会長選出

堅田利明氏を選出。

4 学校運営計画について 松浦校長より

中期的目標を中心に以下の項目について説明を行う。詳しくはそれぞれの担当者から説明させていただく。

1(1)授業力の向上、特にアクティブラーニングやICTの活用に関する報告

(2)進路指導・生徒支援委員会・総合的な学習の時間に関する報告

2(1)学校行事に関する取り組みの報告

(2)生徒指導に関する取り組みの報告

3(1)英語力を伸ばす取り組みの報告

(2)修学旅行・海外滞在研修に関する取り組みの報告

(3)海外からのお客様に関する報告

4(1)学校説明会の活性化と入試に関する報告

5 教務部より

*教科書選定の現状について

府の指示に則り、教科書選定委員会を設置し、教科書の選定が客観的な理由に基づいて行われるよう指導・管理している。

*総合学習の現状について

教科主体から本格的な「協働的」学習に切り替えて2年目。生徒たちは十分期待に応えてくれている。

*校務処理の現状について

校務処理とは校内 LAN システムのこと。多くの学校で、コンピュータに詳しい個人が担当している。本校では複数で担当できるよう工夫している。

*入試について

今年も多くの志願者があった。本校は普通科と国際教養科を併設しているので、出願の際、第二希望を書くことができる。今年度は何人かが第二希望にまわるという結果になった。

*プロジェクターの管理と使用頻度の問題について

特別教室に設置されたものと、持ち運び可能なものを合わせても、全クラス分には足りないため、現在は多くの先生方がプロジェクターを取り合うような状態。

6 進路部より

*53期生の進路状況について

進路希望に大きな変化はないが、私立大学の定員厳格化に伴い、一部の大学では苦戦した。安全志向の結果からか、中堅私大の受験数、合格者数が伸びた。

*進路指導の方針について

授業を大切にして、基礎学力の充実に努める。

学期毎に講習を実施して、学力の定着を図る。

スタディーサポートや模試を定期的実施し、学力の振り返りをする。

進路指導部は担任や教科と連携を図り、上記の課題の解決に尽力する。

以上のようなシステムで日々取り組んでいる。

*指定校について

指定校は例年多くの生徒が希望する。昨今の安全志向の反映と考えている。

7 生徒部より

*遅刻について

遅刻の少なさでは府下でもトップクラス。数値目標は例年クリアできているが、

より減少させるのは難しいところまで来ていると考える。遅刻する生徒は体調不良や家庭の事情など理由の明確なケースがほとんどで、不注意によるものは極端に少ないため。

* 8時30分登校の指導効果について

多くの先生方が校門指導や交通指導などに取り組んでいる。生徒も余裕を持って登校している。

* 部活動について

1年生の加入率は年度によって多少差はあるが、概ね80%ほど。みな活発に活動している。

8 授業アンケートについて

実際のアンケート用紙をもとに概要の説明。

* 講義形式と実技形式に分けてそれぞれ実施している。実施は1学期末と2学期末。

* 経年比較をするため、質問項目は基本的に例年と同じものを使用している。

* 経年変化を見る限りでは、毎年すこしずつ平均値は向上している。

学校側からの報告は以上です。

司会交代 田原氏から堅田氏

9 質疑応答

① Q 生徒支援委員会とは何か。

A 何らかの理由で学校やクラスになじみにくい生徒を早期に発見し、サポート体制を考える委員会です。

Q 具体的にはどのような体制か。

A 多くの場合は保健室が中心となります。スクールカウンセラーとの連携も場合によっては行っています。

② Q アクティブ・ラーニングに関する研修は行っているのか。

A 昨年度は年2回実施しました。先進的な取り組みをして授業を公開していらっしゃる方のVTRを見たり、講師をお招きしてお話を聞いたりしました。

Q 研修の成果はどうであるか。

A ICTの活用や、グループ学習など、一辺倒にならない授業改善は一段と進んでいる。授業公開によって、教員同士も研鑽を積んでいる。

Q 授業公開は同教科で行っているのか。また評価はしているのか。

A 教科は様々である。評価はとくに行っていない。

③ Q 授業アンケートが年2回行われると聞いたが、1回目と2回目ではどう違うのか。

- A 基本的には同じ質問を繰り返している。評価は2回目の方があがっている。
- Q アンケートの効果があるということか。
- A 先ほど触れた授業見学や管理職からのアドバイスなどにより先生方がよりいっそう工夫をされた結果だと思う。
- ④ Q 読書指導は成果が上がっているか。
- A いろいろ取り組んでいるが、なかなか難しい。図書室の利用は年々減少している。
- ⑤ Q 家庭学習は成果が上がっているのでは。
- A 宿題が中心になります。勉強と部活の両立を促す指導を行っている。
- ⑥ Q 部活動について先生方の様子はどうか。中学校では部活に関わらない先生もいるが。
- A 専門外の先生も多くいらっしゃいますが、皆さん頑張っている。部活動に参加している生徒が成績上位に多くいるのは事実。
- Q 部活動が生徒支援にもつながるのでは。
- A 多くの場合、部活の顧問の先生は生徒の近くにいらっしゃる。部員同士の絆も深い、先生方も様々な相談に乗っている。

10 会長より

学校経営計画の承認について

異議はなく、承認されました。

11 その他

①田原教頭より

南炭高級中学校生（台湾から）20名来校時の歓迎の様子をVTR上映

②次回連絡

11 / 12（月）

12 校長挨拶

13 閉会宣言（田原教頭）